

# 市立柏病院建て替え条件の取り組み結果

柏市健康福祉審議会市立病院事業検討専門分科会で答申のあった、病院の建て替え条件達成に向けて、これまで取り組んできた内容と結果を説明します。

☎医療公社管理課 ☎7134-6795・FAX7134-3838



## これまでの経緯

平成28年5月から平成29年7月にかけて、柏市健康福祉審議会市立病院事業検討専門分科会を開催し、将来における市立柏病院のあり方を審議しました。

同審議会の答申として、病院を建て替えることが望ましいものの、建て替えには100億円を超える費用を要するため、病床利用率などの経営面の課題、また、市で不足している小児二次医療体制の構築について、対応できる小児科医師の招へいの課題が懸念されました。

そこで、建て替えの条件として、「病床利用率(平成29年度75パーセント、平成30年度80パーセント)の達成」と「小児科の入院体制のめどが立つこと」が示されました。

この答申を受けて、同病院では条件達成に向けた取り組みを進めてきました。

## 条件達成に向けた取り組み内容と結果

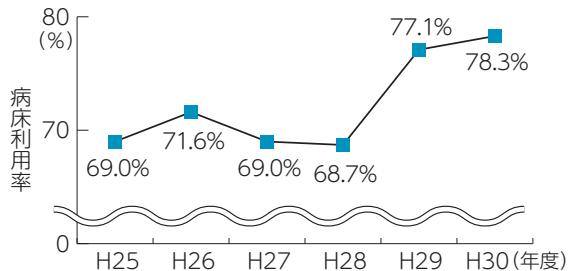
### 1. 病床利用率の向上

救急搬送の受け入れ強化策として整形外科の救急受付時間を拡大したほか、他医療機関との連携登録数を増やし、相互に患者の紹介を推進することで、入院が必要な患者の受け入れに力を入れました。

なお、急性期病棟と比較して、長期間の入院が可能な地域包括ケア病棟の活用については、病床を効率的に運用するなどの受け入れ体制に課題が残りました。

結果は、平成29年度は77.1パーセント(目標75パーセント)で目標達成しましたが、平成30年度は78.3パーセント(目標80パーセント)であり、過去の実績と比較すると向上したものの、目標達成には至りませんでした。

### <病床利用率の推移>



### 2. 小児科の入院体制のめどを立てること

平成30年度には、新たに小児科の常勤医師が2人派遣され、小児患者の検査入院を実施しました。

かねてより要望していた常勤医師を招へいし、入院に向けた体制づくりが整いました。

## 今後の取り組み

病院の建て替えに当たっては、多額の建設費用に対応できる経営基盤を確立する必要があり、そのためには少なくとも80パーセントの病床利用率が必要となるため、建て替え条件は未達成と判断しました。

今年度は、効率的な病床運用など、引き続き経営改善に向けた取り組みを実施した上で、建て替えについて今後判断します。